

授業科目 ICF 入門

【担当教員名】 黒川 幸雄	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現

【概要・一般目標：GI0】
 国際障害分類（International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps：ICIDH）は1980年から2000年までの20年間リハビリテーション医学の世界で大変積極的に活用されてきた。そこで今日においてもその活用が継続されている傾向もある。2001年WHO総会において承認された国際生活機能分類（International Classification of Functioning, disability, and Health：ICF）への移行の背景と意義を理解し、臨床場面への応用の方法を理解し、実際に適用できるようにする。

【学習目標】
 1) ICIDHの概念を理解し、説明できる。
 2) ICFが生まれる背景を理解し、その概念を理解し説明できる。
 3) ICIDHからICFへの移行の意味を理解し、説明できる。
 4) ICFを臨床場面に適用できるように紙上患者 paper patient を用いて、適用できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション。ICFの基本的概念とICIDHの基本的な概念を比較する。	1, 2)	講義
2	ICIDHの生まれる背景とICFの生まれる背景とその移行について検討して理解する。	1, 2, 3)	講義
3	ICFの基本的構成を理解する。	2)	講義
4	ICFの臨床場面での適用について検討する。	2)	講義・演習
5	小グループワーク1	4)	演習
6	小グループワーク2	4)	演習
7	グループ発表	1～4)	演習
8	まとめ・アンケート・試験・授業評価など	1～4)	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ICFの理解と活用	上田 敏	きょうされん	2005・700円＋税
参考書	ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改定版— 生活環境論 第6版	世界保健機関 (WHO) 木村 哲彦 監修・著、 細井俊希、黒川幸雄	中央法規 医歯薬出版	2002・3,500円＋税 2010・6,400円
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、レポート提出、筆記試験などを総合して評価を行う	【履修上の留意点】 集中講義で、日程は9月16日（金）1～5限、9月17日（土）1～3限
----------------------------------------	-------------------------------------------------